

平成28年度 学校評価(最終評価)

武蔵越生高等学校

目指す学校像	グローバル化した国際社会のなかで良き形成者・リーダーとして心豊かで実践力のある人間を育成する学校。		学校関係者評価は、PTA 役員、後援会役員、同窓会役員、学園評議員からなる学校関係者評価委員会による。
本年度の重点目標	1 学力の向上と進路の保障 学ぶことの大切さ、理解することの喜びを体得させ、生徒の実態にあった指導を研究し、魅力的で実力のつく授業の展開を図る。	2 礼儀正しい態度の養成 社会の中の一員としての自覚を持たせ、自分を律していくことで自他の心を大事にする必要性をわからせる。	
	3 クラブ活動の育成強化 生徒の特技や情操を高め、心身の健全な成長を図ると共に、愛校心を育てるためクラブ活動を重視し育成強化していく。	4 地域との連携強化 地域の文化の砦としての信頼を得ると共に、積極的に交流を深め、地域の活性化の一躍を担う。	

年度当初				最終評価			
番号	評価項目	現状	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	29年度への課題と改善策	学校関係者評価
1	生徒個々の知的好奇心を掘り起こし、主体的学習習慣を確立させてより高い学力をつけさせる。	家庭学習等主体的学習習慣が出来ていない生徒が目立っている。それに対し、授業公開、教科会議を開き学習意欲養成、授業改善に努めたり、講座補習を開講し、意欲を育てるとともに、統一試験等の外部模試で相対的学力を診断している。	スクラライトの利用で自己管理能力を育て、週末課題、宿題を課して家庭学習の定着を図る。講座補習、スタディサプリの利用が主体的学習の一助となるよう工夫をする。新コース制への準備をする。教務システム導入で生徒管理をより緻密にする。	○スクラライトの指導を年間続けきることが出来たか。 ○家庭学習時間の増加ができ、学力アップにつながったか。 ○講座補習、スタディサプリが継続でき学習意欲、自学自習の一助となったか ○新コース制の準備ができたか。	○スクラライトが2学年にまたがって実践できており、自己管理させる点で前進している。 ○試験前学習について、学習時間集計をするなど、学習への取り組みを意識させている。進級に向け危機感をもって取り組んでいる様子が見られた。 ○新コース制の準備は順調に進んでいる。	B ○日常の授業の見直しをし、魅力的でより質の高い授業展開の手だてを検討する。 ○授業の充実と外部模試に対応できる学力を身につけさせる努力を行う。 ○講座補習、スタディサプリの活用が学習活動の活性化とどう繋がっているのかについては再度検討したい。	家庭学習習慣の確立、基礎学力の定着に努めてほしい。 三者面談に関して面談できなかった生徒の対応を考えてほしい。
	生徒個々の適性を見極め、将来有益な人材として活躍できるよう指導する。	進路相談会、大学見学ツアーの企画をしてモチベーションを上げている。高大連携を行い、上級学校体験をさせている。「志」教育を導入し、キャリア教育の充実を図っている。長期休業中の予備校講師の授業、進学補習、勉強合宿で上位難関大学合格実績増をねらっている。	進路結果の追跡調査、「志」教育の充実により生徒の自己理解を深めさせ適切な進路選択をさせる。緻密に組んだ進路相談会、大学見学ツアーで生徒への情報提供に効果を上げる。外部模試の事前事後指導を充実させ安定した実力を付ける。	○進路結果調査に基づき3年間の進路指導指針ができたか。 ○適切な進路情報を提供し、生徒のモチベーションを上げられたか。 ○センター試験50%、大学進学率70%が達成できたか。 ○外部模試の事前事後指導、及び分析ができ実力養成ができたか。	○進路ガイダンス、大学見学会等の実施については充実したものととなった。イベントの合理化を進めることができた。 ○推薦、AO入試についての情報提供は出来ており、順調に進路決定ができていた。 ○「志」教育の系統的繋がりが前進してきていた。	B ○センター試験受験者に対するガイダンス、目標値設定、対策講座自己採点等を工夫し、受験意識を高める必要がある。 ○4年制大学進学率70%を追求していく。 ○進路結果調査を基に3年間の進路指導指針の完成を目指す。 ○既存のイベント内容の更なる充実を図ると共に保護者、低学年へのガイダンスを強化していきたい。	大学入試も変わりつつあり、最新の情報収集に努め、ガイダンス等で生徒にも伝えてほしい。
2	社会の中での自分のおかれている立場を理解し、自分を律する心を育成する。	挨拶、身嗜み、礼儀作法の指導に取り組んでいる。身嗜みについては定期的検査で徹底を図っている。生徒会活動については、リーダーシップ養成に取り組んでいる。	学校全体で挨拶にこだわり活気ある雰囲気をつくる。相手を思いやる気持ちを醸成するためにも、マナー指導の徹底を図る。あらゆる場面で生徒の主体的活動を企て自信を持たせ、リーダーシップ、愛校心を育てる。	○生徒全員が挨拶の出来る学校となったか。 ○校内外でのマナーを守り、品性の向上につとめ外部からのクレームがない学校となったか。 ○自主自律的行動がとれ、生徒の本分をまっとうできたか。	○挨拶や言葉遣いについてクラブ単位での取り組みや挨拶運動の成果により若干の成果は見られた。しかし、学校全体を考えると改善の余地がある。 ○文化祭については、生徒のリーダーシップが発揮されている。	A ○風紀委員や生徒会の活動を促し、「挨拶」「言葉遣い」「みだしなみ」改善のためのキャンペーンを継続的に実施していく。 ○生徒への呼びかけだけでなく、乗車指導も定期的に行っていく。	挨拶をする生徒が多く、しっかりとした挨拶ができています。
3	生徒の心身を鍛え、特技・特性を伸ばし、集団の一員として行動できるようにさせる。	クラブ活動が活発に展開されている。関東大会、全国大会へ出場するクラブが数クラブある。ボランティア活動の一環としての施設訪問等の活動に評価も高い。	クラブ活動の年間活動目標、活動計画を作り、規律ある活動を展開し結果を残す。充実した活動で生徒に自信と誇りを持たせ仲間意識を持たせて愛校心を育てる。	○クラブ活動の年間活動計画ののった行動がとれたか。 ○仲間意識が作れて、より高い目標を達成しようと努力できたか。 ○クラブ実績が前年を越えることができたか。	○栄養講習会を企画したり、多面的にクラブ活動の育成強化を図っていた。 ○体育祭については、しっかりと活動が展開できた。 ○関東大会以上の出場クラブが多くなってきている。	B ○運動部の全体集会を行ったりしながら意識高揚に努める。 ○年間活動計画作りを推進してお互いの活動に向けての理解協力体制を作る。	うんどう部が外部で活躍する声をよく聞く。大変活気がある印象である。
4	父母の期待、地域のニーズを理解し、協同・協力が出来、他人のために行動がとれる心を育てる。	PTA、後援会との連携が出来ていて学校行事での協同や教育活動の円滑な運営に成果を上げている。特に、文化祭では保護者の企画によるイベントも運営され学校関係者が一丸となった活動も展開されている。	保護者の声を聞き、そのニーズに応える。積極的に学校開放をして、多くの方に理解を得て教育効果を上げる。外郭団体の活動にも積極的に参加し広い視野と感性を磨く。	○保護者の学校への信頼度が高まったか。 ○卒業生の学校への関心を高める事ができ、同窓会の活性化ができたか。 ○近隣地域との連携がとれて貢献ができたか。	○保護者の学校行事への積極的参加、協力で教育活動が活性化されていた。 ○同窓会の活動が文化祭参加等、表面化してきつつある。 ○地域でのクラブ発表、ボランティア活動等繋がりが深化してきた。	A ○あらゆる機会を見つけて保護者の声を聴取し、教育活動に反映させる。 ○地域での活動を通じて、懇談会を開くなどさらに連携強化を図りたい。	保護者の積極的参加が多く、活性化している。

達成度 A:ほぼ達成(80%) B:概ね達成(60%程度) C:変化の兆し(40%前後) D:まだ不十分(40%未満)